

2023 年度 事業報告書 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 JAM ネットワーク

1,

【総括】

本年度の活動は全般的に、メンバーが主体となってプロジェクトを推進したり、イベントや学会にメンバー総出で参加するなど、活気のある取り組みが行われた。

事業では、自主事業は計画には及ばなかった。その理由の一つは、団体の活動や「ことばキャンプ」プログラムが認知されていないこと、また有効性が知られていないことがあげられる。認知活動に力を入れる必要があるだろう。

一方で、依頼事業は、毎年開催している施設での実施をはじめとして、過去に「ことばキャンプ」プログラムを提供した施設（2024 年度実施）や、里親支援団体からオファーをいただいた。プログラムの効果を実感しての依頼であり、こうした事例を広報していくことは「ことばキャンプ」の有効性を知ってもらうことにつながるだろう。

10 月には、認定 NPO 法人キッズドアからの依頼で「(困窮家庭の) 女子高校生のためのキャリア教育プログラム」の導入プログラムとして、高校生向け「ことばキャンプ」を担当した。参加者アンケート結果は好評だったので、コミュニケーショントレーニング「ことばキャンプ」は、他団体とのコラボ企画のニーズがあると思われる。団体活動の新しい可能性が見えた取り組みだったといえよう。

助成金の申請の一つとして、(社) 倫理法人研究所が主催する地球倫理推進賞（国際活動部門 1 団体、国内活動部門 1 団体）に応募し、JAM ネットワークは、国内活動部門の団体に選考された。賞金とともに、「地球倫理推進賞」「文部科学大臣賞」を受賞した。この受賞は大変栄誉なことであると同時に、団体の活動が広く知られることになり、今後の団体活動の進展を期待できるのではないだろうか。

2 月に行われた(社) 児童養護実践学会では、研究報告、活動報告と 2 つの発表を行った。学会という公の場で発表することは、活動の質と団体の信頼度を高める上で意義がある。今後も実践活動とともに力を入れていきたい。

3 月末をもって、20 年間創業代表をつとめてきた高取しづかから、理事の村上好に代表を引き継ぎ、4 月 1 日から新体制で活動を進めていくことになった。

NPO 法人 JAM ネットワークは、どんな環境に生まれた子どもであっても、自分を大切にし相手を大切にする自尊他尊®のコミュニケーションを身につけて、自立し幸せになってもらいたいという願いをもって、今後も活動を実施していく。

2, 事業内容

I 子ども等のコミュニケーション能力育成に関する事業

事業名	実施施設	地域	場所	受益者数
●自主事業				
全国の児童福祉施設への職員研修	日本児童福祉実践学会養成講座中堅研修 9月14日	東京都	白百合大学	10名
入職前研修	子山ホーム、野の花の家、江南、三愛園 いながわ子供の家	全国	オンライン	20名
●依頼事業				
新任研修+ことばキャンプ事業	ゆりかご園で実施 ① 新任職員研修 7月9,13,16 ② ことばキャンプ 8月19, 23, 29 ③ 報告会 9月28日	神奈川県	施設内	11名
東京都里親支援機関事業 里親相互交流事業 主催：一般社団法人東京公認心理師協会/里親子サポートとこりん	第1回親講座 9月2日 第2回 親子ことばキャンプ 9月9日	東京都	ウェルフェアーム杉並	9名
高校生向けことばキャンプ事業	認定NPO法人キッズドア (困窮家庭の)女子高校生のためのキャリア教育プログラム STEP FOR TOMORROW 2023 主催：J.P. Morgan コミュニケーショントレーニング「ことばキャンプ」実施 10月12日	東京都	:ベルサール東京日本橋	100名
●助成金				
ジョンソン&ジョンソン助成金	組織基盤強化のための助成			
●寄付金				
(社) 倫理研究所	(社) 倫理研究所 第27回地球倫理推進賞(国内活動部門)並びに 文部科学大臣賞 2024年3月29日贈呈式	東京都	都市センターホテル	600名

Ⅱ 人材育成事業 なし

Ⅲ リサーチ事業 なし

Ⅳ 情報発信事業

3, 管理部門

運営：高取、獅子倉、村上、伊藤

プロジェクト事業管理：獅子倉

営業・事務：高取、獅子倉

会計、獅子倉

ファンドレーザー石田氏

税理士：本郷先生